

橋梁技術発表会 及び 講演会

ライブ配信予定!!

開催概要

日時	令和8年10月23日(金) 13:30~16:45
会場	アスティホール 札幌市中央区北4条西5丁目1
申込	https://www.jasbc.or.jp/ ※申込はWebサイトのみです。
申込受付期間	9月24日~10月16日
継続教育	—
資料	会場では配布いたしません。必要に応じて Webサイトより出力し持参願います。 10月16日掲載予定

＜開催日一覧＞		
地区	開催日	申込締切
東京地区	10/02(金)	09/25(金)
大阪地区	10/16(金)	10/09(金)
北海道地区	10/23(金)	10/16(金)
中部地区	11/06(金)	10/30(金)
東北地区	11/17(火)	11/10(火)
九州地区	11/27(金)	11/20(金)
(6地区開催ですが発表テーマは異なります)		



(調整中)

開会 13:30~13:35

開会の辞

技術発表(1)

床版小委員会

13:35~14:10

床版取替え施工時における鋼桁補強

～ 鋼桁補強の種類や施工事例 ～

技術発表(2)

DX推進小委員会

14:10~14:45

鋼橋におけるDXの取り組み

～ 鋼橋事業の生産性・安全性の向上 ～

第一部
技術発表

14:45~14:55

休憩

技術発表(3)

保全委員会

14:55~15:30

「ケン・ブリッチくん」と行く保全工事の世界

～ トラス橋ってどんな橋？特徴を理解して健全に橋を守ろう！～

15:30~15:40

休憩

第二部
特別講演

15:40~16:40

(調整中)

(調整中)

閉会 16:40~16:45

閉会の辞

橋梁技術発表会 実行小委員会
委員長 本田 政樹

発表概要

【技術発表(1)】

(一社)日本橋梁建設協会では、床版取替え工法の種類・特徴・留意点および高耐久化対策を体系的に整理した技術資料として「床版取替え施工の手引き」を発行していますが、鋼橋の床版取替えにおいては、活荷重などの設計条件の変更、合成構造から非合成構造への構造形式の変更、施工時の重機の載荷などに対して鋼桁の補強が必要となります。このため、床版取替えに伴う「鋼桁補強工」に焦点を当て、作業手順、工程、留意事項を分かりやすく整理し、あわせて、代表的な補強工法について実施工の報告に基づいた事例を掲載した「床版取替え施工の手引き補足資料 一床版取替え時の鋼桁補強と施工事例」を発刊しました。本発表では、この補足資料に基づき、床版取替え施工時における鋼桁補強の種類や施工事例について説明します。

【技術発表(2)】

建設業は他産業に比べ労働生産性が低く、就業者に占める若年層比率の低下と人手不足が進行するなか、業務効率化と働き方改革が喫緊の課題となっています。本発表は、こうした社会情勢を踏まえ、国土交通省が進めるi-Constructionに呼应し、業務DXの実装を通じて、鋼橋事業の生産性・安全性を高める施策と今後の道筋を示すものです。

一般社団法人日本橋梁建設協会では、鋼橋事業におけるi-Constructionの取り組みを「i-Bridge」と称し、ICT活用技術の普及・推進に取り組んでいます。本発表では、その活動内容を、測量・設計・製作・施工・検査・維持管理の各業務ステップに沿って事例を紹介いたします。併せて、2023年度から原則適用となったBIM/CIMの設計・製作・現地工事における運用状況、ならびに鋼橋上部工における「鋼橋のデータ連携」の取り組み内容、最新の動向、今後の展望について報告します。

【技術発表(3)】

ドライブをしていると道路や線路などでトラス橋を目にすることがあると思います。トラス橋は軽量で桁橋に比べて支間を長くすることが可能であるため、長年に渡り河川や山間部にて建設されてきました。また、歴史的に貴重な橋梁も残っており、それらを含めて現在でも数多くのトラス橋が現役で活躍しています。トラス橋はスレンダーで大変美しい橋梁形式ですが、部材の軸方向に作用する力にだけ抵抗することができる軸部材で構成されています。この大変重要な特徴を踏まえて維持管理(補修・補強)を行わなければ健全な構造を維持することができません。本発表では、トラス橋の構造的特徴を示したうえで、それらを踏まえた損傷事例や補修・補強事例、既設橋梁の状態を把握するための現地踏査や現地計測技術についてご紹介します。